第８回ティーボール　チャレンジ大会

幼児＆小学１・２年生親子どか点ティーボール大会開催要項

１ 目　　的	どか点ティーボール大会での交流を通して,幼児並びに小学１・２年生チームと,保護者チームを編成し,参加者同士の親睦を深め,子供たちの心身の健全育成を図る。
２ 目　　標	(1) 笑顔いっぱいティーボールを体験すること。 (2) ティーボールを通して,打つ,走る,捕る,投げるという運動の基本動作を楽しく学ぶこと。 (3) 人との関わり方を学び、社会性を養うこと。 (4) 引率・大会関係者への「感謝」を学ぶこと。
３ 主　　催	上三川町ティーボール協会
４ 共　　催	栃木県ティーボール連盟
５ 後　　援	上三川町/教育委員会/スポーツ協会/野球連盟
６ 開催日時	令和８年１２月１3日（日）　午前９時～午後１時頃予定
７ 会　　場	上三川町蓼沼緑地公園（雨天の場合は上三川日産スポーツセンター）
８ 参加資格	(1) 幼児＆小学１・２年生並びに野球未経験の小学生 (2) 保護者（祖父母含む）＆引率関係者
９ 競技の約束	本大会の約束は以下のとおりとする。 (1) 打者が打ったボールを守備選手は本塁へ返球する。本塁にいる保護者(又は指導者)がバッティングコーンのボールを載せる。その時、打者が回った塁の数を打者の得点とする。 (2) 塁間は、１０ｍ又は１２ｍとする。 (3) ボールは、インドア用ボール（オレンジ）を使用する。 (4) １チームの選手は、６～８名とする。 (5) 全員打撃制ルールとし、試合は２イニングとする。
10 組合せ抽選	大会当日の午前８時３０分から大会会場にて行う。（チーム編成も含む）
11 開　会　式	大会当日の午前９時から大会会場にて行う。
12 閉　会　式	試合終了後、大会会場にて行う。
13 健康管理	参加者はスポーツ傷害保険等に加入し、保護者の同意を得て参加すること。 なお,参加者並びに関係者のゲーム中に起きた負傷等については,主催者は一切の責任を負わないものとする。
14 申し込み	令和８年１１月１9日(木)までに,町生涯学習課備ホームページから,参加申込書に必要事項を入力し,上三川町ティーボール協会「**杉山**」までメールでお申し込み下さい。 **※ 杉山一寛**　メールアドレス　**happiness6106@gmail.com** 携帯番号　　090-4722-6832 なお、大会当日の申し込みも可能とします。
15 その他	雨天時の会場については、午前7時に決定する。杉山携帯まで確認してください。

競　技　の　約　束

1 チーム編成　６～８名の選手とし、会場にて混成チームを編成する。

2 競　技　場　(1) 塁間の距離は、１０ｍ又は１２ｍとする。

(2) 塁はベースとする。ただし、触塁はしないで内野ラインと外野ラインの間を走る。

(3) 本塁＆バッターズサークル（安全確保）は、本塁プレートを基点の半径３ｍに円を描くようにラインを引く。

(4) 本塁は、本塁プレート上またはその位置に置いたバッティングコーンとする。

(5) 本塁での得点は、バッターズサークルに打者が入ったときに得点とする。

(6) 守備ライン（内野ライン・外野ライン）は、以下のとおりとする。

① 内野ラインは、一塁・三塁と本塁・二塁を結ぶ対角線交わる点を中心とし、一塁の1m後方の地点から、三塁の1m後方の地点まで、本塁から11m又は12mとなるように膨らみをもたせ円を描くように引く。内野手はこの線上の場所で構える。

② 外野ラインは、内野ラインから2m、本塁から13m又は15m後方の地点まで、一塁側から三塁側まで、円を描くように引いたラインとする。　外野手はこの線上の場所で構える。

③ ホームランラインは引かない。打者はボールが本塁手へ返球されない場合、は一塁（1点）・二塁（2点）・三塁（3点）、本塁（4点）へと回ることができ、その都度得点が加算される。

(7) バッティングコーン側方4~5mに、攻撃側ベンチとして安全ラインを引く。

3 約　　束　(1) 打者は、思いきりボールを打つ。三振アウトなし

(2) 打者は、打った後、バットを円（丸）の中に入れて走る。

(3) 打者走者は、塁ベース後方の打者走路をしつかり走る。

(4) 守備者は、打ったボールを捕るために動く。守備者は「わたし」「ぼく」と声を出して捕りに行く。

(5) ボールを捕った選手は、本塁近くにいる指導者へ返球する。

(6) 指導者（または球審）は、ボールをバッティングコーンの上に乗せ、乗せた後、打者が打撃を完了し、打者走者の回った塁の数が得点となる。

(7) 指導者と打者チームの全員は、打者走者が一塁ベースを回ったら「1点」、二塁なら「２点」、三塁なら「３点」、本塁（バッターズサークル）「４点」と大きい声で得点を数える。 審判員はこれを確認し、その打者の得点を決定する。

(8) 打者チームの全選手は、本塁・バッティングコーン側方の打者チームベンチライン（安全ライン）内で応援する。

(9) 内野手・外野手とも3～4名とする。